

七尾市、羽咋市、穴水町、能登町における 災害弔慰金等認定審査会合同開催について（第 4 2 回）

本日、標記 4 市町の災害弔慰金等認定審査会が次のとおり開催されたので、お知らせします。

1 審査結果

＜令和 6 年能登半島地震＞

市町	審査数	認定数	不認定数	継続審査数
七尾市	8	4	4	0
羽咋市	2	2	0	0
穴水町	1	0	1	0
能登町	3	1	1	1
計	14	7	6	1

○災害弔慰金（災害関連死）の理由（主なもの）

＜認 定＞・自宅で被災し、複数回の移転、生活環境の変化により心身に相当の負荷が生じ亡くなった

・施設で被災し、停電・断水等により体力が低下し亡くなった

＜不認定＞・発災前からの病気が原因で亡くなり、災害との因果関係が認められなかった

※特記事項 自殺 1 件

＜令和 6 年奥能登豪雨＞審査なし

2 審査結果の累計（災害関連死）

＜令和 6 年能登半島地震＞

認定 475、不認定 235、継続（実人数）6 計 716

→死者数 718 人（直接死 228 人、関連死 490 人）

（関連死の内訳）

・県内市町合同開催分 475 人 ※市町で正式に認定された場合

・金沢市 1 人

・県外 14 人 ※富山市 1 人、高岡市 2 人、氷見市 4 人、射水市 1 人
新潟市 4 人、上越市 2 人

※令和 8 年 2 月 9 日時点で危機管理部が把握しているもの

＜令和 6 年奥能登豪雨＞

認定 5、不認定 1 計 6

→死者数 21 人（直接死 16 人、関連死 5 人）

3 認定結果

審査会を踏まえ、市町が災害関連死と認定し、災害弔慰金の支給を決定した場合は、後日、市町が公表を行います。

※継続審査とされた事案については、次回以降、再度審査が行われます。